

平成 29 年度 学校評価実施報告書

幼稚園名 (深草 幼稚園)

<p>1 幼児が主体的に遊ぶ姿を重視する 保育の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたい遊びを見つけ、夢中になって遊び込むための環境構成や援助の見直し、再構成や実践 ・教師との信頼関係を基に安心・安定を基盤とし、それぞれの発達に応じて、身近な人に主体的にかかわる楽しさや喜びを味わうための環境構成や援助 ・子どもが様々に心を動かし、試したり挑戦したりするための保育環境の工夫 ・感動体験につながる園外保育や栽培活動・地域の方とのかかわりを大事にするとともに、遊びや生活との連続性をもった保育実践 ・協同する遊びや生活の意図的な投げかけ ・幼稚園兄弟を意図的につくり、年間を通して異年齢児がかわる機会を設定 <p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊ぶ姿、自己発揮しようとする姿の変容・週案の反省、評価・エピソードの検討 ・アンケート項目「子どもは幼稚園を好きだと感じていますか」「友達とかかわることを楽しんでいますか」「幼稚園兄弟とかかわることを楽しんでいますか」「体を動かすことを楽しいと感じていますか」「自然とのかかわりや栽培活動を楽しんでいますか」「持ち物の始末や着替えを自分でしようとっていますか」 			
<p>各種指標結果 (1回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師との信頼関係をもとに子どもたちの気持ちが安定し、自分の興味ある遊びや取組を通して自己肯定感をもてるようになってきた。 ・幼稚園兄弟や地域の方々とのかかわりをもつことで、園外保育、栽培活動などの体験をより楽しむことが出来た。 ・持ち物の始末や着替えに関しては、年長児は保護者の期待も大きく評価が厳しかった。家庭と協力しながら身辺自立を進めていきたい。 ・「幼稚園兄弟とかかわることを楽しんでいる」(75%) 			
自己評価	<p>分析 (成果と課題)</p> <p>昨年度の「幼児が地域に親しみ愛着を持つことを目指して」という研究主題をもう少し新採教員と共に研修できるようにわかりやすくした。『身近な人に親しみをもち、心をつなげるための教師の援助や環境構成を考える』としたことで、人とのかかわりの中で信頼関係が基盤となり、子どもの発達に最も必要であること、人との出会いをつくる教師の援助や環境構成について丁寧に見直しているところである。子どもの変容にもよい姿が見られ、保護者アンケートの結果も良好である。</p> <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>子どもが様々に心を動かし、試したり挑戦したりするための保育環境の工夫は、教職員が一丸となって取り組むことはできているが、普段の保育の中にうまく浸透させることが難しい姿も見られた。計画的に見通すことに課題が見られた。</p>		
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちも親しみをもって声をかけてくる。学校運営協議会の方も子どもたちの成長の姿を見ることが出来てうれしいと思うと話してくださる。 ・これからも保育に参画できるようにしていきたい。 ・世代が変わっていくので次へとうまくつないでいきたい。 		
評価者評価	<table border="1"> <tr> <td>評価日 8月24日</td><td>評価者 学校運営協議会 (なかよし会)</td></tr> </table>	評価日 8月24日	評価者 学校運営協議会 (なかよし会)
評価日 8月24日	評価者 学校運営協議会 (なかよし会)		
<p>各種指標結果 (2回目)</p>			
自己評価	分析 (成果と課題)		

	分析を踏まえた取組の改善	
学校 関係者 評価	学校関係者による意見・支援策	
評価日	評価者	

	<p>2 小学校への学びにつなぐ「学びに向かう力」を育む 幼小接続の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの思いや考えを出し合い、活動を進めていくための小グループでの協同的な活動を計画的に位置づける。 遊びを通して、試したり、挑戦したり、やり遂げたりする力や自信につながるための環境構成や援助 「親子で絵本！」のノートを活用し、様々な絵本や物語との出会いを基に豊かな創造性や言語に対する感覚などの育成 「学びに向かう力」を明記したアプローチカリキュラムとしての週案の作成 <p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流のエピソード検討 交流保育の回数や合同研修の回数 「親子で絵本！」の活用度 <p>各種指標結果（1回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校との連携交流のエピソードは、今年度まだ検討できていないが、ずっと以前から小学校との連携に力を注いできた幼稚園だけに、小学校と幼稚園のかかわりがスムーズであることを感じる。小学校側も幼稚園の育ちを知ろうと前向きである。 小学校との連携（大変思う 78 %） 「親子で絵本！」は定着してきて保護者の意識も変わってきた。2学期から親子で絵本を通して触れ合えるように月に1回「親子で絵本デー」を設けた。今後の活用の様子を見ていきたい。絵本を見るのを楽しんでいる（60 %）
自己 評 価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間計画を立てて見通しをもって取り組むことができている。 2年生が幼稚園を訪問して交流できることは、子どもたちにとっては嬉しいことである。しかし、毎回小学校側の交流するクラスが変わるのでつながりを深めることは難しい。アンケートからも幼小連携交流は心強いという意見が挙がっていた。 アプローチカリキュラムとしての週案の作成はまだ課題がある。 <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼小接続は事前の話し合いはするが、事後の話し合いは時間を取り付けてすることが少ないので、小学校と互いに意識できるようにしていきたい。学校運営協議会の方にもご協力してもらうことも考えていいきたい。 週案の内容を充実をしていく。
学校 関 係 者 評 価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>幼稚園でかかわった子どもたちが、小学校で頑張っているのを見ると嬉しく、応援したくなる。これからもつながりをつくりていきたい。地域の子どもが地域を好きだと思ってほしい。</p>
	評価日 8月24日 評価者 学校運営協議会
	各種指標結果（2回目）

自己評価	分析（成果と課題）	
	分析を踏まえた取組の改善	
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策	
	評価日	評価者

自己評価	<p>3 自ら体を動かす意欲を育て、基本的な生活習慣を形成し、自信と自立心を育む 心と体・生活習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の発達を捉えながら、体を動かし、身体諸機能の調和のとれた発達を促すための保育環境の構成や援助 一人一人の課題を明確にし、家庭と連携しながら基本的生活習慣の確立に向けた援助 自分のことを自分でできる実感から自立心、自信につながる援助 <p>(取組結果を検証する) 各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート項目「年齢にふさわしい生活習慣が身に付きましたか」「体を動かして遊ぶことが好きですか」 週案の中の「運動遊び」の取り入れ方及び反省、評価 <p>各種指標結果（1回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣が身に付いてきている（そう思う 80 %） 体を動かして遊ぶことを楽しんでいる（大変そう思う 85 %） 週案の中に運動遊びの取り入れがほぼできている。 	
	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣の定着に関しては特に年長児の保護者が自分の子どもに対する評価が厳しい。また、家庭により課題を抱えているところもあるので温かく援助していくたい。 年長児はプール遊びを始めた頃から自信が付き始め、よく体を動かして遊ぶようになった。 年少児はさまざまな身体機能を動かせる遊びを週案で意図的に考え、工夫している。 <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 早寝早起き朝ごはんの定着と共に身辺自立は家庭との連携が必要なので、家庭の事情も考えながら指導していくたい。 運動を伴う遊びを引き続き週案に明確化していく。 	
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動会の様子や園外保育に出かける様子を見て、春からの心身の成長を感じた。園外保育などは大変だが、子どもの体験には必要なことなので協力できることはしていきたい。 さまざまな体験活動の場を作っていくたい（柿取り、昔遊びなど） 	
	評価日 8月24日・10月23日	評価者 学校運営協議会
各種指標結果（2回目）		

自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
	評価日 評価者

<p>4 自己発揮と自己抑制の調和のとれた自律性（折り合う心）を育む保育を推進する 信頼関係・折り合い・自己肯定感・公共心の芽生え</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園での安心感につながるよう信頼関係（子どもと教師、保護者と教師）を構築し、興味のある遊びや新たな関心を基に自己発揮できる遊びや生活の展開 身近ないろいろな人とかかわる機会を設定するとともに、人とかかわる楽しさを十分味わい、大切にされているうれしさや安心感を実感できる保育の展開 自己発揮するとともに他者との折り合いの場面ができるような協同する遊びや生活を重視した保育の展開 <p>（取組結果を検証する）各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート項目「幼稚園は喜んで来ていますか？」「安心して、幼稚園生活を送っていますか」「自分の思いを伝えたり友達の思いを聞いたりしていますか」「地域とのつながりを大事にしているか」 <p>各種指標結果（1回目）</p> <p>幼稚園は好きだと感じているか（80%）</p> <p>友達とかかわることを楽しんでいるか（年少70%）</p> <p>友達に思いを伝えたり相手の話を聞いたりしているか（年長50%）</p> <p>地域とのつながりを大事にしているか（90%）</p>	
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師との信頼関係が出来、喜んで幼稚園に来ている。 友達同士のつながり（年長）や気の合う友達（年少）が出来つつあり、一緒に遊ぶ楽しさや喜びを感じてはいるが、自分の思いを主張することが多く、他者の思いに気づき、気持ちに折り合いをつけることに時間を要する面が課題として残る。個に合った指導が必要である。 <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 人とのつながりは成長の上で大事にしたい部分であるので、引き続き温かい人間関係づくりを目指していきたい。 年齢に応じて協同する楽しさが味わえる機会や環境づくり、援助を意識していきたい。
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	評価日 8月24日
	評価者 学校運営協議会

各種指標結果（2回目）

自己評価	分析（成果と課題）
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策
	評価日 評価者

園独自の項目

- ・他校種との連携
- ・預かり保育の充実
- ・地域との連携
- ・子育て支援の推進
- ・情報発信の充実（ホームページ更新）

（取組結果を検証する）各種指標

- ・アンケート項目「他校種とのつながりを大切にしていますか」
- ・預かり保育の参加人数・アンケート項目「預かり保育（ふかふかランド）は喜んでいますか」
- ・未就園児、園庭開放の参加人数
- ・ホームページのアクセス数と保護者からの反応

各種指標結果（1回目）

- ・「他校種とのつながりを大切にしている」（大変そう思う 80%）
- ・「預かり保育は喜んでいる」（大変そう思う 年長 85%， 年少 55%）
- ・未就園児 3歳児はにぎやかだが、2歳児以下の子どもたちが減っている。
- ・ホームページのアクセス数は決して多くはない。

自己評価	分析（成果と課題） <ul style="list-style-type: none"> ・他校種とのつながりは小中学校の理解のおかげでほぼ理解を得ている。今後も連携を深めていきたい。 ・預かり保育は年齢によって喜ぶ子どもが違う。内容を考えて参加人数を増やせるように努力していく。 ・2歳児以下の未就園児は他の幼稚園、保育園の経営方針の影響もあるかもしれない。 ・ホームページのアクセス数は、内容を検討し、教育方針を理解してもらえるように努力する必要がある。
	分析を踏まえた取組の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・他校種とのつながりや預かり保育の中で異年齢児とかかわる意義など具体的に伝え、内容の充実に努めていきたい。 ・子育ての支援という本来の趣旨を忘れず、公立幼稚園の良さをアピールし、入園につながるように今後も努力する。 ・今後も幼稚園教育の理解が図れるように発信を心がける。

学校による意見・支援策

- ・預かり保育の内容を充実できるように今後も協力していきたい。
- ・子育ての支援が入園につながるようにポスターやチラシの配布は協力するので声をかけてほしい。

関係者評価	・他の幼稚園や保育園の経営も気にはなるだろうが、公立幼稚園で大事にしていることは自信をもてばよい。深草の良さを生かしてほしい。	
評価日	8月24日	評価者 学校運営協議会
各種指標結果（2回目）		
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <p>分析を踏まえた取組の改善</p>	
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策	
	評価日	評価者